



水ぬるむ（舟入川川干）

——とじておくくと便利です——

あなたと市政をむすぶ★★★★★

広報 **なんこく**

3 / 15 1985 No.424

編集・発行／南国市広報委員会

——広報に載ったあなたの写真をさしあげます。企画広報係へお申し込みください——

婦人の声を市政に

アンケートをもとに 活発な質問

市連合婦人会（西森律会長、会員約一千六百人）恒例の「第二十四回市政会議」が、二月二十八日、市役所大会議室で開かれました。婦人の社会参加を進め、市政を学習しようとする毎年の開催されているもので、婦人会側からは市内各地の代表約五十人、執行部側からは小笠原市長、吉本・浜田両助役、関係課長らが出席し、また議会からは岡崎議長、門田副議長、各常任委員長が参加。婦人会が各地区でアンケート調査した資料をもとに市政全般にわたって話し合いました。

まず、西森会長が「国際婦人年」も今年が最終年。地域ごとに社会参加と学習の輪をさらに広げていきたい。毎回同じ質問が出ていることの意味を行政側は、よく考えてほしい」とあいさつしたあと、小笠原市長が「今日は、行政について有意義な質問やご意見をいただけたと存じます。今後、市政の三つの柱である空港、財政、同和対策に産業の振興、教育も市政



市執行部に40項目の質問をした

主な質問の内容

○今、全国的に行政改革の気運が盛り上がりつつあるが、市の取り組み、具体策はどのように。
●今後の取り組みとしては、やはり経費を切り詰める必要がある。行政の守備範囲を見直して市民自らがすること、あるいは市と市民が連携して行うことに考えてほしい。また、市民の中にも議論は賛成だが、各論は反対との声がある。皆さんの協力がなければなかなかできない。行革は、市民の立場から監視をしていただき無駄を省いて効率を上げるために協力をお願いしたい。

○ジェット機の騒音で、線引き内の地区はもうそれ以外以外の地区でも迷惑している。線引きの見直しをしてほしい。また、低騒音機の導入についてはどうか。
●ジェット化前に騒音を予想して区域指定がなされているが、科学的にみて今のところ、それ以上の方法がない。議会の空港特別委員会も運輸省へ陳情したが、線引きの大幅な変更は難しいだろうといわれている。また、昨年には県が四季を通じての騒音調査をしており、その結果も待ちたい。

低騒音機の導入について、機種の設定は各航空会社がやっており、んにPRしている。市民のモラルの問題でもあるので、各地区で議論して取り組んでいただかないと、これ以上、前へは進まないのではないかとも思う。また、婦人の果たす役割は大きいので、この問題をそれぞれの地区へ持ち帰っていただき、皆さんの協力をお願いしたい。

○昼休み時間の窓口業務はできないものか。
●現在、労務管理面のこともありやっけないが、特別な場合には対応しているケースもある。今後支所廃止の問題と絡めて、行財政事務改善委員会の意見も聞いて、諸証明の事務だけでもやるように努力する。

○市役所の駐車場がいつも満車だ。教育を希望する。
●同和対策事業で環境は整備されてきたが、もう少し社会教育の充実を図る必要があるか。
○空港のジェット化を生かした市勢発展を望む。
●市の中心になる所が見当たらない。これからの中心になる街を計画、実行していくべきだ。

○農道を含む道路や河川、用水路の早急な整備を要望。特に農業用水路の整備が遅れている。
●道路、河川、下水等については、運輸省は、その窓口の形になっている。新しく開発される機種は低騒音機に変わるので、徐々に低騒音機が導入されると思う。
○阿佐線建設について、今回のアンケートでも賛否両論あったが、現状はどのように進んでいるか。また、マイカー時代に採算がとれるのか。そして、市にメリットがあるのかどうか。

●県が中心となって採算性、経営方法など資料を作って検討している。市としては六項目の条件を付けて協力しようということですが、騒音やルートの問題もあり、市へのメリットは他市町村に比べて少ないのではないかとと思う。

○吾岡山の跡地については、以前から運動公園にとの要望がある。どのような計画になっているのか。さらに四十五メートルの高さまでにして跡地を公園化する。市街化調整区域なので雑木林など周辺も含めた五〇以上で公園化する構想だ。
○今年国際青年年です。青年のフレッシュなエネルギーを取り上げてほしいが、その計画は。
●現在、事業計画については教育委員会が中心となって、予算化もお願いしている。社会参加活動の促進など三つの重点目標を掲げているが、県や国の事業とのかかわりもあるので具体的なものはこれか

らだ。有意義なものをと考えている。

○窓口の職員の対応が良くなったとの声が多く聞かれるようになったが、勤務時間内に食堂へ出入りするなどの状態が見受けられる。職員数が多いとの意見につながるのではないか。

●職員の勤務規律については文書を通して、また、職員組合等も通じて指導している。徐々に向上していることは間違いないが、厳正に守らなければならない問題だ。

○総合文化センターの建設を望む声が多くあるが。

●今は学校の改築が優先で、学校の体育館、講堂を整備し、社会教育に活用したい。

○青少年の非行対策について、補導状況や指導体制は。



村山 千津さん
(日章)

参加した婦人の声

どんな会かと思いましたが、活発な意見が出るのにびっくり。今までは市政に関心や疑問もありましたが、婦人ももっと市政について知らなければと痛

感じました。また、小さなことでも市政に反映させることは大切なことだと思います。限られた人数ではなく、もっと多くの婦人が参加したらよいと思いますし、ここでの話を役員さんが各地区へ持って帰り、浸透させているか、少し疑問も感じます。

●補導センターでの補導件数をみると、五十八年度は四百三十一人、五十九年度では二百九人と、二十二人の減になっている。特に中学生の補導件数が二百二十五人から四十三人と大幅に減った。しかし、逆に一般家庭からの相談件数は増えており、また、非行が密室化の傾向にあるなど、実際は問題を持っている家庭は増加していると思われる。親の子供に対する意識の低さも一つの原因だ。

対策としては、関係機関の協力とともに家庭へPRするなど、家庭教育へ力を入れていく。

○同和対策については、各地区での学習会や同和推進講座、公民館活動などを通じて続けてほしい。また、会への参加者が少ないので人集めに努力してほしい。

●人を集めるのではなく、地域へ出かけての学習会などで成果は上がっているが、まだ参加者が少ないので、今までの努力を少しなればと考えている。公民館活動などのほか、婦人会のなかでも、もっと学習をお願いしたい。

同和対策事業については、教育委員会とともに啓蒙、啓発活動を行うなど、市民の皆さんに協力を願って進めている。進捗よく状況は、五十九年度末で野中地区が三三〇〇名、前浜地区が四七五〇名の見込みだ。

○ごみ問題は、市民一人一人の問題でもあるが、分別収集の徹底などについて、指導の強化をしてほしい。

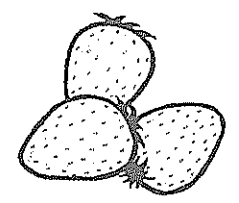
○いろいろな機会をとらえて皆さんにPRしている。市民のモラルの問題でもあるので、各地区で議論して取り組んでいただかないと、これ以上、前へは進まないのではないかとも思う。また、婦人の果たす役割は大きいので、この問題をそれぞれの地区へ持ち帰っていただき、皆さんの協力をお願いしたい。

○昼休み時間の窓口業務はできないものか。
●現在、労務管理面のこともありやっけないが、特別な場合には対応しているケースもある。今後支所廃止の問題と絡めて、行財政事務改善委員会の意見も聞いて、諸証明の事務だけでもやるように努力する。

○市役所の駐車場がいつも満車だ。教育を希望する。
●同和対策事業で環境は整備されてきたが、もう少し社会教育の充実を図る必要があるか。
○空港のジェット化を生かした市勢発展を望む。
●市の中心になる所が見当たらない。これからの中心になる街を計画、実行していくべきだ。

○農道を含む道路や河川、用水路の早急な整備を要望。特に農業用水路の整備が遅れている。
●道路、河川、下水等については、

関係住民の意見を聞きながら百年の計を忘れずに。
●各種公害の積極的排除の指導強化を望む。
●保育所の定員は適当か。また、入所決定をもっと平等にしてほしい。
●新築の建物の評価を厳正に実行すること。
●農家の利益は家庭の無料奉仕で成り立っており、必要経費が多くなることを分かってほしい。



寄せられた意見、要望

●広報だけで広報がない。したがって市の広報があまりよくない。
●職員数が多いすぎはしないか、一般の会社のように働けば三分の二くらいでよいと思う。職員は公僕ということ認識してもらいたい。
●学校のクラブ活動で生徒まかせにしているクラブがある。と聞くと、先生方の教育の問題を問う。
●熱へ通わなくてもよい学校

●広報だけで広報がない。したがって市の広報があまりよくない。
●職員数が多いすぎはしないか、一般の会社のように働けば三分の二くらいでよいと思う。職員は公僕ということ認識してもらいたい。
●学校のクラブ活動で生徒まかせにしているクラブがある。と聞くと、先生方の教育の問題を問う。
●熱へ通わなくてもよい学校

●広報だけで広報がない。したがって市の広報があまりよくない。
●職員数が多いすぎはしないか、一般の会社のように働けば三分の二くらいでよいと思う。職員は公僕ということ認識してもらいたい。
●学校のクラブ活動で生徒まかせにしているクラブがある。と聞くと、先生方の教育の問題を問う。
●熱へ通わなくてもよい学校



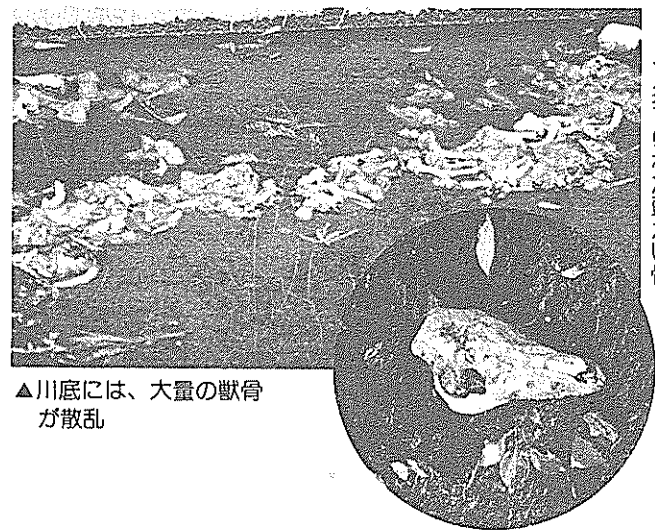
▲「美しい川に」と、下末松の住民が注意を促す立て札を設置

川は...

豊富な流れを



▼発泡スチロールや木きれなど、たくさんのごみ(横堀川)



▲川底には、大量の獣骨が散乱

▼捨てられた頭がい骨

拾う身で

考えて

だれが捨てるのかわからないが、とても困ったことです。



小松修三さん
(下末松公民館長)

三日の横堀川清掃には、多くの人に参加し、特に空き缶の多さに驚いた。捨てる人は、迷惑する地元のこともっと考えるべきだ。また、投げ捨てるをしないようにと、このほど二カ所に立て札を建て呼びかけているが、少しでもその効果が上がってほしい。

今後は、地区だよりなどを通して、地区の美化意識を高めていくことも考えている。

立て札で 呼びかけ (下末松)

人は、川をゴミ捨て場とと思っているのでしょうか。とんでもないことです。南国署では、悪質な不法投棄として調査を始めました。

近所の人の話によると「ここ二、三年前から、川干のとき見かけるようになった。この付近の人は捨てるような人はいないし、あんなに大量ということは、だれかが車で運んで捨てているのでしょうか。ひどいことです」と、あまりのモラルのなさに驚いています。

下末松の横堀川も、ごみがいっぱい。よどみには、ビンや木片、発泡スチロールの箱など、うんざりするほどたまっています。

三月三日、下末松の地区民五十人が集まり、長岡小から西へ約五百メートルの間を清掃しました。集まったごみは、ごみ袋で百袋と、予想以上の多さにびっくり。木片、トタンなどの大きなごみは、二時半もありました。

地区の話し合いで、ごみの投げ捨てを少しでも減らそうと、へんろ石と長岡東部公民館の二カ所に立て札を設置。広く河川の美化を呼びかけています。

ごみ捨て場?

舟入川、横堀川で
一斉清掃

取り戻そう

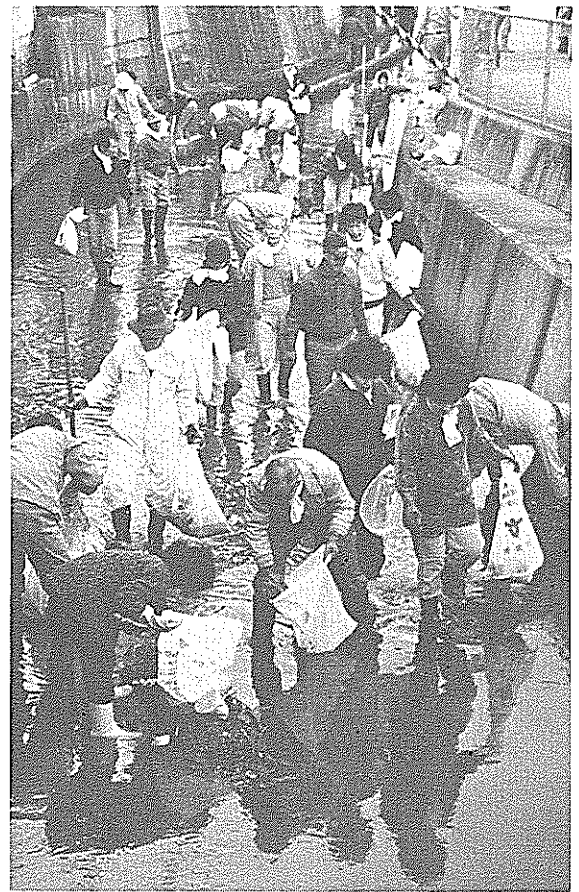
○3月3日○



▲捨てるのは簡単でも、清掃には大変な労力と経費が必要です



▼捨てられた缶やビンの多さにびっくり



▲地域住民70人が協力して、早朝から清掃作業に動んだ

舟入川を 一斉清掃

ごみの不法投棄が絶えない舟入川で三月三日、流域住民が協力し一斉清掃を行いました。

昔は、水もきれいで、子供たちが泳いだり、洗濯をしたりと、地域の人々の生活に密着していた舟入川は、今は空き缶、ビニール、発泡スチロールの容器が散乱する「ごみの川」となっています。川に取り戻そうと、今回の一斉清掃となったもの。

場所は、後免から西へ小笹までの区間で、特にごみの量の多い篠原地区は業者に依頼して清掃してもらおうことになっています。

上流の東崎西部地区、下流の小笹地区では、朝早くから約七十人の住民が参加。それぞれごみの多さに驚きながら、泥だらけになって清掃に汗を流しました。

獣骨が散乱

一方、上野田から下野田にかけての舟入川で、大量の獣骨が発見されました。

豚や鶏とみられる骨が、川の両側約一キロにわたって散乱。捨てる

就航を祝い、初便の客に花束を贈った



3月2日＝ 高知－鹿児島便が就航

高知空港に新しく、日本近距離航空の高知－鹿児島便が就航し三月二日、初便行事が関係者百人が集まり行われました。

鹿児島からの一番機は、午後二時五分到着。エプロンで、中内知事、小笠原市長らが、島津藩の陣羽織を羽織った観光関係者ら乗客を出迎え、花束、記念品を贈りました。

歓迎式ではまず、日本近距離航空の丸居幹一社長が「念願がかないうれしい。あこがれの高知に第

一便が到着できたのも、皆さんの協力のおかげです。今後、真心を込めた運営に心がけたい」とあいさつ。中内知事が「西郷隆盛、坂本龍馬と維新の偉業を遂げた二人を生んだ土地としてゆかりも深い。これからは、人事、経済の面

などいろいろな交流をお願いしたい」と祝辞。続いて、鹿児島への第一便のテープカットが行われた後、新婚旅行に向かうカップルなどに花束が贈られ、就航を祝いました。

20人が実社会へ

〇〇就職生を励ます会〇〇

この春、実社会へ巣立つ「就職生を励ます会」が三月四日、中学生十四人、校長先生、担任の先生などが集まり市役所大会議室で開かれました。

今年、実社会へ出る中学生は市内四中学校から二十人（うち女子七人）で、県外へ就職する人は四人となっています。

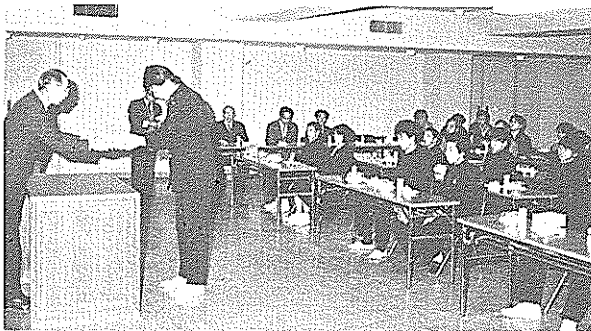
会ではまず、市進路指導研究協議会長の耕崎稔香長中学校長が「大人の仲間入りをする皆さん、根性と忍耐力を持って頑張ってください」と激励。小笠原市長が「自分が決めた進路に向かって努力し、自

信を持って社会生活を送ってほしい」と、田内稔治教育副委員長が「上司、同僚から愛される人になってください」と、それぞれが言葉を贈りました。

そして鈴江教育長から、一人一人に記念品が手渡された後、蔦ヶ池中の上村智彰さんが「社会人として責任を持って生活をしていきます」と、決意を述べました。

学校と違い、実社会ではつらいことも多くありますが、若い力で一つ一つ乗り越えていってほしいと思います。

実社会へ巣立つ中学生を激励した



もみ跡土器に興味深く

岸本小が「史跡めぐり」に…



興味深く出土品を見る子供たち

香我美町岸本小の六年生十二人が三月八日、「史跡めぐり」に訪れました。

これは、六年生の歴史の勉強に毎年行われているものですが、南国市を訪れたのは初めて。

園分寺、土佐国衙跡、比江麿寺跡、小蓮古墳と見学。そして、市立図書館二階にある、田村遺跡の出土品などをいっぱい集めた資料

室を訪問。

県教委文化振興課の出原恵三三事が、出土した石包丁、石斧、たき石など使い方を詳しく説明し、子供たちは興味深くメモを取りながら、昔の人々の生活を勉強しました。特に、稲のもみ跡が残る土器片を見て「うーん、ほんとだ」と目を輝かせていました。

一年生からプレゼント袋をかけてもらい大喜びの園児



気分はもう1年生

◇園児が1日入学◇

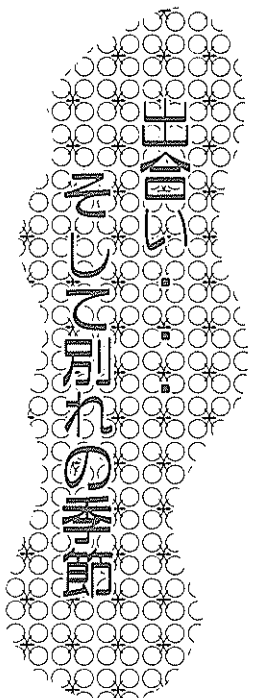
(三和小)

この四月、ピカピカの一年生になる園児が小学校へ一日入学。三月八日、三和小学校(上田増実校長、三百四十一人)を訪ずれた園児は、校区内の浜改田、吾岡、里保育所、フレンド幼稚園に通う五十九人。

まず、お兄ちゃん、お姉ちゃんたちの勉強ぶりを見学。興味深そうに、ノートをのぞき込む園児もいました。



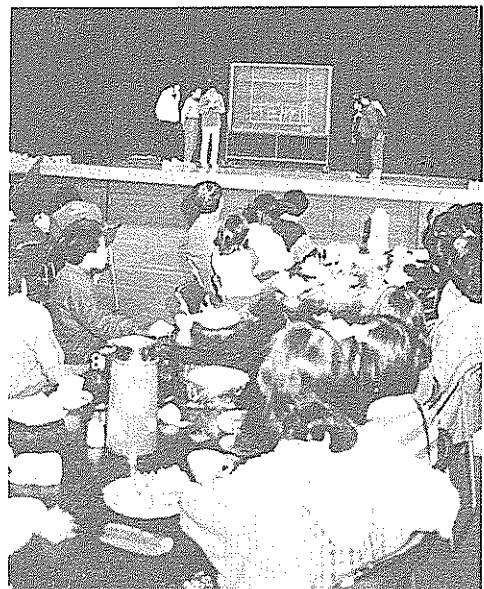
お兄ちゃん、お姉ちゃんの勉強ぶりを見学



そして体育館に集まり、一年生との交歓会。まず、一年生が「おもちゃのマーチ」「チューリップ」の合奏を披露し、続いて「じゃんけんゲーム」では、体育館を走り回りながら、園児と一年生が楽しく遊びました。

全員集合し、一年生が作ってくれたプレゼント袋を首にかけられ、園児は大喜び。袋の中には「楽しい遊具もあるよ。みんなで入学を待っています」と、やさしい手紙が添えられています。

最後に上田増実校長が「四月に入学する皆さん、お兄ちゃん、お姉ちゃんたちも心から喜んでいきます。元気に入学式に来てください」と言葉を送りました。



お世話になった人たちに感謝を込めて、手料理や楽しい出し物を披露

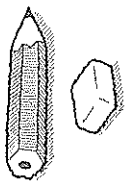
手料理で

お別れパーティー

○日章小○

お世話になった人たちに感謝を込めて……。卒業式を間近にひかえた日章小学校(小笠原巧校長、三百七十四人)で三月八日、恒例の六年生主催の「お別れパーティー」が開かれました。

今年の卒業生は七十五人。六年間お世話になった先生、用務員さん、そしておいしい料理を作ってくれた給食婦さんに、六年生の各班から招待状を送り、当日は子供たちが、家庭料の実習を生かした手料理を準備。おいしいサンドイッチやサラダなど、テーブルに並びました。



健康管理の 今昔と私の健康

藤川千万太 (天行寺・92歳)



藤川千万太さん

健康管理の命題は、現在行われている国保体制と、現行体制前の健康管理状況がいかにあったかを考え合わせる事です。

現行の国民健康保険の基礎理念は、人間の持つ相互扶助の精神であり、この精神を行政の上に生かしたものと見えましよう。

国民皆保険制度のもと、他保険に属さない地域住民は国保被保険者として、それぞれの資力に応じ相互扶助の精神を保険税という形に代えて納入しています。保険者は、収納額を国の助成金に合わせ診療機関に支払い、加えて助産費、葬祭費の一部まで給付の対象とすることができたことは、国保制度の輝かしき成果というべきです。保険制度は、人生五十年と唱えられていたものを八十年代まで上昇させてきました。

思えば現行国保制度の前にも、健康管理に関する行政はありまし

た。しかし現在のように、組織的に地域住民を結集させた病難対策という体制はありませんでした。したがって、病難対策としては当

家、各個人、親類縁者の覚悟と共同責任が基本でした。

家に重病人ができる。一年たっても快方にむかわない。かねてからの蓄えも使い果たす。命の糧の田畑、山林まで売り尽くし、さらに子女を年寄奉公に出し治療費のたしにする。そして果ては死から、一家離散という悲惨なことが少なからずあり、戦後までも続きました。

このように厳しい時代を過ぎた今は、国保天国の感じさえします。機構は確立され、医療技術も長足の進歩を遂げつつありますが、このような完璧の体制のもとも、皮肉にも人間を襲う難病の攻撃は後を断たず、果たして天寿願望の夢を抱くことができましようか。

健康保険の目標は、人間の不死を約束するものではありません。いかにして、各人が健康を保持し天寿を全うするか、各人をして天寿に近づけることができるかにあります。

被保険者は自らの感覚を整え、躍動させ、病難を未然に防ぎ、身に得た病難克服に懸命の努力をばらうことは、当然の努めであろうと思えます。

この私も、国保の被護のもと生命の原点に生きる被保険者の一人です。我が身の健康管理について、いささかでも参考になればと申し上げてみます。

具体的に申しますと、自分は風邪をひきやすいので、気づけば早

めに薬を飲み寝ることに決めています。

また食事では、私は元来「口」いやしい方です。すでに九十年以上食べていますが、健康保持上「口」の求めだけに任せて失敗することが多くあります。常に腹に相談し八分目を維持しようと努めています。もう一つ肛門とも協議をし、食物を選択しているおかげで、一日一〜二回の快便がありま

す。たまたま腹を悪くしたときは、薬に頼らず食物で治しています。ここ数十年、腹痛のための薬は使っていません。

また家が農家であるから体を使うため、健康上の運動は特別にしていません。

精神生活については、死生を貴く精神に自信を深め、生かされるだけ生きて世のために尽くしたいと思えます。

と念じています。

――筆者の横顔――
明治二十六年八月二十三日、南国市天行寺に生まれる。当年九十二歳。札幌地裁書記官、高知県議会議員、南国市国民健康保険運営協議会委員二十年を経て現在活躍中。

五十九年度の決算期に入ります。納税を済まされていない被保険者は、早期の納税にご協力をお願いします。六十年度の保険証が発行されます。

市内六千五百の世帯の人々で運営されています。ご協力をよろしくお願いします。

※ご意見やご質問をお寄せください。 ☎ 2111内線135

【市民課国保係】
先ごろお願いしました「アフリカ募金」には、市民の皆さんのご協力により、総額六十万円の善意が寄せられました。さつそく県連合婦人会事務局へ納めさせていただきました。紙面をおかりし、ご報告とお礼を申し上げます。ありがとうございます。

市連合婦人会長 西森 律

“アフリカ募金”に 総額60万円の善意

野菜をもっと …食べよう

野菜は分類上、緑黄色野菜（にんじん、ほうれん草、かぼちゃなど）と淡色野菜（キャベツ、白菜、キユウリなど）の二つに分けることができます。

緑黄色野菜は、ビタミンA、Cなどを多く含み、特にビタミンAは、油といっしょに食べるとよく吸収されます。淡色野菜は、ビタミンCが主要栄養素で、水に溶けやすく、熱に弱いので生で食べるほうが効果的です。

私たちは、毎日の食生活の中で、野菜をどのようにとっているでしょうか。

三家庭について一年間にわたって野菜摂取量を調べた資料があります。その資料によると、淡色野

菜に比べ緑黄色野菜の量が少ない結果となっています。一般に、一日の必要量は緑黄色野菜で二百g、淡色野菜で二百gといわれますが、淡色野菜は必要量を満たしているものの、緑黄色野菜は少し不足しています。また、季節的にみると、両方とも冬場に量が減ることが特徴です。

野菜の自給率は昔に比べ、低下していますが、一方で新鮮な野菜を食卓にとりいれる声も広がり家庭菜園も増えていきます。

栽培適期は次の表のとおりです。皆さんも計画的な栽培をしてみませんか。

（料理実習）

大豆入り

きんぴら

〈作り方〉

①大豆は一晩、水に浸して水を切り、すり鉢で荒くつぶす②ごぼうはせん切りにし、水にさらしてアクをぬく。にんじんもせん切りに③鍋に油を熱し、ごぼう、にんじん、大豆をよく炒め、しょうゆ、さとう、油で調味し、

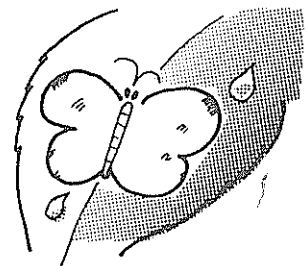
種を除いて輪切りにした唐辛子を加えて、汁気がなくなるまで煮詰め、最後にいりごまをふる。

材料

大豆 ½カップ
ごぼう 400g
にんじん 100g
いりごま 大きじ3
唐辛子 1本
しょうゆ } 調味料
さとう }
酒油

品名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ブロッコリー			X						△	○	X	≡
レタス	○		X	≡	X				△	○	△	X
人参	X	≡	X	△			X	≡	X			
キャベツ	≡	X		X	≡	X		△	○		○	X
結球白菜	≡	X							△		X	≡
カブ	≡	X							△		X	≡
ほうれん草	≡	X							△		X	≡
春菊	≡	X							△		X	≡
大根	≡	X		△		X	≡	X		△	X	≡
玉ねぎ				X	≡	○					○	○
エンドウ				X	≡	X					△	
キュウリ				△	○	X	△	○	X	≡	X	
ナス				△	○	X	≡	≡	X			
青シソ				△		X	≡	≡	X			
トマト				○		X	≡	≡	X			
ネギ			X						○			X
南瓜			○		X	≡	○					○
ニラ			△	X					○		X	
パクチョイ		X		△	X	≡	X		△	X	≡	

△—は種 ○—定植 ×—収穫 ○……貯蔵



銃砲刀剣類の 登録審査

美術品や骨とう品として価値のある「火なわ式銃砲や刀剣類」は、法に基づいて登録しなければなりません。

○審査・文化庁長官が任命した登録審査委員が行う。

○日時・毎月第一火曜日、午後二時半から四時まで。

○会場・県庁西庁舎二階会議室（都合により変更あり）

○審査を受けるときの携行品

①審査を受けようとする銃砲刀剣類②警察署で交付を受けた発見届済証③発見届を出した者の印鑑

④一件につき四千五百円の登録手数料

○その他・登録刀剣類の所有者変更および登録証再交付の事務など、詳しいことのお尋ねは、県教育委員会文化振興課までどうぞ。



受講生募集

中央公民館の教室・サークル

くいつしよに楽しみませんか

受講希望者は、市立中央公民館（大塚中二二五）へ直接またはハガキで申し込んでください。希望教室（サークル）、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のこと。

詳しいことは、市立中央公民館（☎3498）まで。場所指定のないものは、いずれも市立中央公民館です。

仙紙等持参

《盆栽》

日時・第1、第3日曜日
午前10時～12時
講師・山本好和氏
開講日・4月7日

《暮らしのマナー》

日時・毎週金曜日
午後1時半～3時半
講師・谷治正子氏
開講日・4月5日

《喜多流謡曲》

日時・毎週木曜日
午後7時～9時
教士・野村幸太郎氏
開講日・4月4日

《茶道(裏千家)》

日時・第1、第3水曜日
午後6時～9時
講師・松木末亀氏
開講日・4月3日

《詩舞》

日時・毎週土曜日
午後7時～9時
講師・井上笑子氏（☎4721）
開講日・4月6日
会場・一カ月千円

《洋画》

日時・第1、第3水曜日
午後7時～9時
講師・寺尾孝志氏
開講日・4月3日
会場・一カ月千五百円

《民謡》

日時・毎週金曜日
午後7時～9時
講師・西山彰一氏
開講日・4月5日
世話人・井上笑子さん（☎4721）
会場・一カ月千五百円

市役所臨時職員

市役所では、季節的な事務の増加、職員の出産などにより、臨時的な職員を雇用しています。

昭和六十年年度に雇用を希望される方は、自筆の履歴書に写真をはって三月二十五日までに、管理課職員係まで提出してください。職種と仕事の内容は次のとおりです。

【一般事務】市役所本庁およびその土地改良法により正規の手続きで認可を受けていない団体は、「土地改良区」という名称を使用できませんので、必ず認可を受けるようお願いします。

【管理課職員係】

『土地改良区』は認可を受けて

土地改良法により正規の手続きで認可を受けていない団体は、「土地改良区」という名称を使用できませんので、必ず認可を受けるようお願いします。

土木係（☎2111内線223）までご連絡。

狂犬病予防注射が年1回(4月)に!
○4月4日から市内各地で○

狂犬病予防法により、今まで年二回（四月・十月）、狂犬病の予防注射をしなければなりませんでしたが、免疫持続期間の長いワクチンの製造によって、昭和六十年から年一回（四月）となります。

左表の日程で、予防注射および今年度の登録受け付けを行いますので、必ず最寄りの場所に犬を連れて、時間内においでください。もし登録または狂犬病予防注射をしなかったものは、法律により罰金に課せられることがあります。

●登録料……二千二百円
●注射料……二千二百円
（合計四千三百円）
●獣医宅での注射料……二千七百円
●獣医の巡回による注射料……二千三百円

なお獣医の巡回または獣医宅で予防注射をした場合は、登録されていませので、必ず市役所環境保健課まで登録においでください。

《犬の正しい飼い方五カ条》

- 犬にしつけと訓練を
- 犬は過保護に育てないよう
- 犬にも十分な運動を
- 放し飼いはしないで
- 人の迷惑にならないように

《不用犬の引き取り》

やむを得ず飼えなくなった犬や、処理に困った子犬などは捨てないで、毎月一回行っている不用犬の引き取り日にお連れください。日程、場所、時間は広報の市民カレンダーの欄に、そのつど掲載していますので、ご注意ください。

〔環境保健課〕

**あなたの投稿を
お待ちしております**

「広報なんこく」では、四月号から皆さんの投稿で作るコーナーを設けたいと思います。

あなたの身の周りのほのぼのとした話題や我が家の自慢料理、読書、演劇の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼投稿先・〒783 南園市大塚中二二五
▼原稿は六百字前後でお願いします。
▼原稿は六月前までお願いします。

身体障害者地引き網交流会

日時・3月31日(日) 午前9時～午後2時（参加無料）
集合場所・浜改田本村の海岸
対象者・市内在住で身体障害者手帳を受けている方
申し込み・協議会事務局または、各地区役員まで。
締め切り・3月25日(日)
詳しいことは福祉事務所社会係（☎2111内線162）までお問い合わせください。

狂犬病予防注射、登録日程表

月日	実施場所	実施時間
4月4日(木)	明見保育所 午前 9:00～9:20	原中公民館 午前 9:30～10:00
	竹吉野公民館 午前 10:20～11:00	住市民体育館 午前 11:10～11:30
	能間公民館 午後 1:30～2:00	山島公民館 午後 2:10～2:40
4月5日(金)	西南三島公民館 午前 9:00～9:30	長岡東部公民館 午前 9:40～10:10
	西島公民館 午前 10:20～11:00	左支所公民館 午前 11:10～11:30
	久農協公民館 午後 1:30～1:50	南支所公民館 午後 2:00～2:40
4月9日(火)	久南支所公民館 午前 9:10～9:30	市農協前出張所 午前 9:40～10:00
	市農協物部出張所 午前 10:10～10:50	市農協西地区公民館 午後 11:00～11:40
	市農協立田出張所 午後 1:30～1:50	市農協立田出張所 午後 2:00～2:40
4月10日(水)	片山公民館 午前 9:00～9:20	間和地区公民館 午前 9:30～9:50
	三和支所公民館 午前 10:00～10:40	改田公民館 午前 10:50～11:10
	十阿市市場前館 午後 1:30～2:00	市戸支所公民館 午後 2:10～2:40
4月11日(木)	十阿市市場前館 午前 9:10～9:40	市戸支所公民館 午前 10:00～10:20
	市戸支所公民館 午前 10:30～11:10	市戸支所公民館 午後 1:00～1:20
	市戸支所公民館 午後 1:30～2:00	市戸支所公民館 午後 2:10～2:50
4月12日(金)	黒滝公民館 午前 9:40～10:00	奈路公民館 午前 10:30～11:00
	外山公民館 午前 11:20～11:40	市農協公民館 午後 1:30～2:00
	市農協公民館 午後 2:20～2:40	市農協公民館 午後 2:20～2:40
4月15日(月)	白木谷公民館 午前 9:20～9:40	市農協公民館 午前 9:50～10:20
	市農協公民館 午前 10:30～10:40	市農協公民館 午前 11:00～11:30
	市農協公民館 午後 1:30～1:50	市農協公民館 午後 2:00～2:40
4月16日(火)	岡田公民館 午前 9:10～9:30	岡田公民館 午前 9:40～10:10
	岡田公民館 午前 10:30～11:00	岡田公民館 午前 11:10～11:30
	岡田公民館 午後 1:30～1:50	岡田公民館 午後 2:00～2:20
4月18日(木)	包末公民館 午前 9:30～10:00	岩内公民館 午前 10:10～10:40
	野野田公民館 午後 1:00～1:30	野野田公民館 午後 1:40～2:00
	野野田公民館 午後 2:20～2:40	野野田公民館 午後 2:20～2:40
4月19日(金)	宇田公民館 午前 9:00～9:30	中栄公民館 午前 9:40～10:00
	中栄公民館 午前 10:10～10:40	中栄公民館 午前 10:50～11:30
	中栄公民館 午後 1:00～2:00	中栄公民館 午後 1:00～2:00

●健康相談など

内 容	地 区	日 曜	受付時間	場 所	対 象
健康相談	長岡東部	㊦月	10:00~11:30	長岡東部公民館	
育児相談	"	"	1:30~3:00	"	
リハビリ教室	全地区	27水	1:30~	社会福祉センター リハビリ室	
乳幼児相談 歯科	大 篠	㊦月	1:30~4:00	社会福祉センター 保健婦室	
健康相談	長岡西部	"	1:30~3:00	中央福祉館	
乳児相談	十 市	1 月	10:00~3:00	十市支所保健婦室	
健康	稲 生	5 金	"	稲生地区公民館	
乳 幼 児 ツベルクリン	三和・前浜	2 火	1:30~2:00	三和地区公民館	56.4.1~ 60.1.1の 出生児で 未接種児 (対象地区外でも 受けられます)
	日章・岩村		2:00~2:30	日章 "	
	国府・岩倉 久礼田	3 水	1:30~2:00	植野公民館	
	長 岡		2:00~2:30	長岡小体育館	
	後免・野田 大篠	10 水	1:30~2:30	大篠地区公民館	
乳 幼 児 ツベルクリン判定 BCG接種	三和・前浜	4 木	1:30~2:00	三和 "	
	日章・岩村		2:00~2:30	日章 "	
	国府・岩倉 久礼田	5 金	1:30~2:00	植野公民館	
長 岡		2:00~2:30	長岡小体育館		
三種混合 百日咳 破傷風	全地区	3 水		個人通知者	
不用犬引き取り	"	10 水			
健康相談	日 章	8 月	9:00~9:30	市立図書館前 立田青年の家 保健婦室	
リハビリ教室	全地区	10 水	1:30~	社会福祉センター リハビリ室	

●不燃物(金属類以外)の収集 ●金属類の収集日

日 曜	地 区
㊦木	陣山、三島、上末松、下末松、西山 上甘枝、西島、古市
22金	植野、領石
23土	瓶岩、上倉
25月	国府、岩村
26火	笠ノ川、八幡、定林寺、滝本、蒲原
27水	中島、常通寺島、江村、小巻、三軒家
28木	植田、久礼田
29金	十市北部
30土	収集地区なし
㊦月	十市南部
2 火	里改田、片山
3 水	浜改田
4 木	前浜、下島、久枝
5 金	立田
6 土	田村
8 月	物部
9 火	稲生
10 水	能間、野田口、城陸、榎田町 朝日町

日 曜	地 区	備 考
㊦金	岡豊	第4金曜日
25月	久礼田	" 月曜日
26火	物部、稲生	" 火曜日
27水	大篠	" 水曜日
㊦月	三和	第1月曜日
2 火	野田、後免、宇田	" 火曜日
3 水	長岡	" 水曜日
5 金	大篠	" 金曜日
9 火	国府、岩村、岡豊、三軒家	第2火曜日
10 水	久礼田、瓶岩、上倉	" 水曜日

●休日在宅医

日 曜	当 番 医	電 話
㊦木	南国病院(大桶)	☎3137
24日	吉川診療所(植野)	☎0100
31日	柴田外科(大桶)	☎3412
㊦日	上村診療所(里改田)	☎8286

市の統計

2月

60.2.28現在

《面積》
124.98km²

《人の動き》
人口 47,452人
(前月比15増)
うち男 23,075人
女 24,377人

世帯 16,370世帯

出生 52人
死亡 29人
転入 127人
転出 135人

《交通事故》
発生件数 15件
死者 0人
傷者 19人

《火災》
発生件数 3件
うち建物 1件
車両 0件
その他 2件
被害額 19万円

《救急》
出勤回数 77回
うち急病 52回
交通事故 8回
一般事故 9回
その他 8回

《建築確認申請》 31件
《開発許可申請》 8件
《農地転用許可申請》 7件

南国市役所..... 〒783南国市大桶甲2301 ☎63-2111(代)

領石支所☎62-0020 岡豊支所☎64-2423 十市支所☎65-8401

水道局☎63-1234 市民体育館☎64-3498